



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 齋藤 章
- 幹事 井辺 一章
- 会報委員長 伊藤 松寿
- 大垣共立銀行 高山支店 4F



「朝陽差し込む上高地田代池」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

本日の会員スピーチでは、友好クラブである台北東海RCとの話を小森さんにして頂きますので、会長の時間では関連話として過去に姉妹クラブでありました珠洲RCとのいきさつや、友好クラブ締結までに至らなかった清水RC、竹田RCとの話をさせて頂きます。



①珠洲RCとの姉妹提携・解消の経緯

(1973)S48. 9. 10 珠洲クラブより提携承諾の文書が届く

- ・溝際一男会長、岡田貴幹事
- ・理事会において姉妹提携推進を強く希望していた珠洲クラブへ、当時の内田親睦委員長より提携申込の書簡を送った際の回答が届く

(1973)S48. 11. 22 珠洲訪問

- ・会長・内田委員長にて例会出席。姉妹提携についての話し合いを行い、翌4月に珠洲からより高山へ訪問する方向で調整

(1974)S49. 4. 20 高山にて姉妹提携記念式典

(1993)H5 年 姉妹提携解消

- ・船坂立三会長 石田善次幹事時、珠洲クラブが韓国の東釜山RCとも姉妹提携
- ・姉妹クラブ委員会(委員長: 久保田誠氏)が会員アンケートをとった上で、提携解消すべきとの結論を理事会提出。
- ・2回の理事会協議を経て提携解消の意向を、6月、石田幹事より先方へ打診。「特段に驚いた様子で無かった(石田幹事談)」。
- ・後日石田幹事より確認した際、珠洲クラブでも締結当時の元会員の意見なども確認の上、解消に同意の意向が伝えられる。

(1997)平成9年1月 珠洲RC経由で珠州市に10万円送金。

- ・田之下徳重会長、新田敬義幹事の際、新年家族例会のオークション売上金から重油流出事故への寄付金として送金。

②清水RCとの関係

(1995)H7. 10. 20 の職業奉仕委員会担当例会の際、当時の税務署長が、出身地の有名人である清水次郎長と、高山の山岡鉄舟との関係について卓話。

(1996)H8. 4. 16 清水RC訪問

- ・伊藤 松寿会長、挟土 貞吉 幹事、田之下エレクト、垂井クラブ奉仕委員長の計4名にて訪問。交流を進めた上で、機が熟せば友好クラブ提携へ、との話を双方が確認。

(1996)H8. 10. 9~10 清水RCより 12名来高

- ・田之下徳重会長、新田敬義幹事
- ・宵祭り、からくり鑑賞等案内

(1997)H9. 8. 2~3 清水港まつりへ31名参加

- ・河野 善男 会長、菱川 正臣 幹事
- ・大変な歓待を受けるも、具体的に友好クラブの話が進まない状況のまま、時の福井ガバナーの意向を受け国際交流に力を入れる運びとなり、9月には初の台北東海RCへの公式訪問、それを受け翌H10. 4月の台北東海RC訪問団の受入などを経て、交流も自然消滅となる。
- ・さらに翌H11. 9に台北中部地震があり、台北東海RCへ義援金を送った所先方より友好クラブの申し入れがあったため、清水RCとの友好クラブ提携の話は立ち消えとなる。

③竹田RCとの関係

(2010)H22. 10 竹田RC幹事より電話にて友好クラブの申し入れ

- ・広瀬中佐の故郷、大分県竹田市では2009年からの「坂の上の雲」テレビ放送にちなみ、様々な記念事業が行われていた。その内の一つで、広瀬中佐が少年期を過ごした高山とのつながりについて、高山市役所職員が講演に現地に向かう。その際、竹田RC会員より友好クラブの打診があり、文化協会関連で旧知の河渡氏に相談した所快諾されたため、西クラブの名を先方に伝える。
- ・理事会にて検討するも、先方は一つも友好クラブがない状況であるが、こちらは台北東海もあり、今回は見送りとして、中村幹事が電話連絡

<幹事報告>

◎地区広報・情報委員長 山松 健一 様、
濃飛分区ガバナー補佐 剣田 廣喜 様より

・CLP勉強会のご案内

日 時 12月10日(土)
13:00~15:00

会 場 ホテル パストール (下呂市森 1781 000)

登 録 料 1,500円/1名

出席要請者 会長・幹事・副会長・会長エレクト・副幹事



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会報告

◎バンコク国際大会地区推進委員長 竹腰兼壽パストガバナー、郵船トラベル(株)より

・国際大会参加ツアーのご案内

期 間 2012年5月3日(木)～8日(火)の5泊6日

旅行代金 ハイ訪問 268,000円、ブーケット訪問 246,000円

<受贈誌>

可茂RC(会報)、台北東海RC(会報)、(財)比国育英会バギオ基金(バギオだより)、(株)東日観光(国際ロータリー年次大会参加旅行のご案内)

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日



葛谷 一嘉 11. 7、河渡 正暁 11. 3、
小田 博司 11. 5

当日欠席

菱川正臣 11. 1、垂井政機 11. 10、山下明 11. 3

◎夫人誕生日



小森 丈一 映子 さん 11. 17
折茂 謙一 佑子 さん 11. 3
田近 毅 薫 さん 11. 1
阪下 六代 恵子 さん 11. 14
鴻野 幸泰 尚美 さん 11. 28

当日欠席

岡田 贊三 芳子 さん 11. 6
伊藤 松寿 早苗 さん 11. 20
垣内 久男 マウリン さん 11. 15

◎結婚記念日



葛谷 一嘉 11. 5、平 義孝 11. 3、
小森 丈一 11. 11、田中 武 11. 18、
田中 正躬 11. 29、寺田 昌平 11. 14、
米澤 久二 11. 20、垣内 秀文 11. 4、
向井 公規 11. 6

当日欠席

村瀬 勝彦 11. 11、洞口 良一 11. 10
道脇 清春 11. 5、垣内 久男 11. 3

◎出席表彰

田中 武
8年

◎在籍周年記念表彰

ナシ

◎3ヶ月表彰

・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・折茂 謙一 ・河尻 浩次
・蜘蛛 康介 ・鴻野 幸泰 ・小林 勝一 ・小森 丈一
・田近 毅 ・田中 武 ・中村 良平 ・菱川 正臣
・洞口 良一 ・道脇 清春 ・米澤 久二



<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	36名	9名	45名	45名	100.00%
本日	32名	—	32名	45名	71.11%

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

例会報告

会員スピーチ



台北東海RCと玉蘭荘について

小森 丈一

15年ほど前「Rの友」に日本語を公用語とする、台北東海RCが有るとの紹介あり 故 久保田、中谷、菱川の3氏がプライベートでクラブを訪問する。遠来の客で歓迎され、久保田さんが中国語を話せたので、より親近感を持たれた。

台北東海RCは米山記念奨学生の学友が中心となって創ったクラブで、日本への感謝を忘れない為に日本語を公用語にしています。

97年9月 河野会長 菱川幹事の時22名が台北東海RCを訪問し、クラブとしての交流が始まった。その後2000年4月4日高山グリーンホテルで友好クラブの締結式を行い、正式に友好クラブに成った。その際 期間を設定し、5年毎に見直しをする条項を記載している筈です。

その3週間後の4月23日 台北東海RC創立5周年記念式に十数人で訪問し、懇親会の席で、温林会長エレクトから国際奉仕をしませんか？と声を掛けられた。どこか当てが有るのですか？と尋ねると「玉蘭荘」と言われ、玉蘭荘ってどんな所？と尋ねると、温林さんは余り日本語が上手では無いので充分理解できなかったが、「今日有るのはこの人達のお陰です、その人達に支援をしたい」と言われ胸を打たれました。私は国際親善も大切ですが、国際奉仕も大事と考えていました。

年度が替わり 私が会長、黒川さんが幹事の時、玉蘭荘の支援を理事会で承認して頂き、その後電話やFAXでやり取りして、細かい打ち合わせの為、私と黒川幹事の二人で、台北に行き温林さんの案内で玉蘭荘を訪ねました。

玉蘭荘は 林久子と言う日本人宣教師が創った福祉施設で、かつて日本が台湾を統治した時、いわゆる植民地にした時、強制的に日本語教育を強いられ、姓名までも日本名に変えさせられ、その環境で育った人と結婚した日本人の女性や、台湾の女性が歳を取り、連れ合いに先立たれ、寂しく暮らしている。台湾の人にも心のケアは日本語で話しをすることで、週に2-3回集まって、日本語で話し合い、日本の歌を歌い、俳句や短歌を詠み、誕生パーティーなどをやり、一日を楽しく過ごす癒しの場 が玉蘭荘です。其処はす

べて寄付金で賄われているので、支援が欲しい。希望の物を尋ねると、TVが古く、小さく映りも悪いので大型TVが欲しいと言われ、51インチの大型テレビジュエルセットを贈呈する事に決め、総て温林さんに一任して帰国しました。

この年には我がクラブの創立35周年を迎え市にテントを寄贈し、式典が有り、予算は20万円しかなく、WC Sへ補助金の要請、11月1日文化会館で別院主催の中国残留日本人女性を扱った劇「再会」が有り、私は教区の門徒会長をしていましたので入り口に募金箱を置くのを許してもらい市民からも募金を募りました。また会員よりカンパをお願いしました。12月18日 玉蘭荘を十数人で訪問台北東海RCと共同でテレビジュエルセットを贈呈しました。その時の様子はTV、新聞で紹介された。

その後、台北東海RC創立10周年の時も、玉蘭荘を訪問し寄付金を贈呈しています。

三室会長 岩田幹事の時にも玉蘭荘を慰問しています。台北東海RCを縁として玉蘭荘に支援をしています。今後どの様にお付き合いして行くかが課題になります。

ロータリーバッジの事

クラブアセンブリーの時、SAAの脇本さんから、定款、細則にロータリーバッジ着用と記載がないので、着けても着けなくても良いが、出来るだけ着けて欲しい。但しノーバッジでもペナルティーは課さない、との話があった。

定款には バッジを付ける事の出来る者は、①ロータリアンとその家族、②資格を失った者はクラブに返す事、③他のバッジと併用してはならない。と書いてあり、着けなければならないとは書いて無い。しかし1927年の第2回日本ロータリーカウンスルに「必ず襟章をつける申し合わせがなされた」と記載あり、私はロータリアンはロータリーの会合には必ずバッジを付けるべきと思う。歯車の歯は何本あるかご存知ですか？24本あります。先ほど皆で唱和した4つのテストは、24の単語と文字で出ています。ロータリアンの言動の指針は4つのテストです。それをいつも胸に収める証としても、バッジを必ず付けたいものです。

それを監督するのが SAA (会場監督) です。SAA だけは、世界中何処のクラブでも、SAAと書いた紅い襟を掛けている

SAAは会場監督で例会場における最高の権限を持っています。SAAは少なくとも30分前に来て例会をマネージします。部屋の温度、マイクの音量、ソング頭出し、BGM、点鐘の鐘・槌の用意、机の配置、ゲスト、ビジターの案内の指示、ビジターの食事の不足した時はSAAの食事を提供します。又例会中に自由に歩く事のできるのはSAAだけで、居眠りや私語をしている人の所に行き、そ〜と肩に手をやり注意します。人に迷惑を掛ける人、行儀の悪い人を退場させる権限を持っています。

気品と規律の有るクラブ、和やかの中にも緊張ある例会は、SAAに依る所が多い。魅力有るクラブとなる様激しく監督されますよう希望します。

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

例会報告

<ニコニコボックス>

●斎藤 章さん

①10月30日の環境保全委員会による四十八滝清掃活動にIACの先生2名と12名の生徒と多くのメンバーが参加していただきありがとうございました。小雨降る中の活動でしたが、思ったよりゴミも少なかったです。会長・幹事も含めて4人が道に迷いご迷惑をおかけしました。

②11月2日ロータリー情報委員会によるFMありがとうございました。5人の新入会員し委員長以下7名での構成でした。

③本日の会員スピーチ、小森丈一さん宜しく願い申し上げます。

●井辺 一章さん

幹事をおおせつかりもう4ヶ月経ちました。皆様の協力でなんとか頑張っております。新会員も5人増え何とか会計運営がし易くなりました。ありがとうございます。

●折茂 謙一さん、米澤 久二さん

2012-2013年度の役員・理事候補者名簿を貼り出して頂きました。どうぞ皆様よろしくお願いします。

●鍋島 勝雄さん

役員理事候補者発表、特に田中武さん副会長就任大賛成です。また、会長始め西ロータリーを益々発展させて下さい。

●小森 丈一さん

①結婚祝い、家内の誕生日を頂きありがとうございました。

②11/1 地方自治功労の表彰を受けました。伊藤松寿さん、田中正躬さんも表彰されました。12年間選管を大過なく務める事が出来、感謝しています。

③今年も卓話の時間を与えて頂きありがとうございます。今回はR財団の話ではありません。少しでも役に立つ話になればと思っています。

●田中 正躬さん

先の市政75周年記念大会には荣誉ある賞をいただきました。これもひとえに皆様方のおかげと感謝してニコニコへ。

●新田 敬義さん

10月28日三女の結婚式を櫻山八幡神社で執り行っていただきました。曲がりなりにも親の勉めを果たせたかなとホッとしております。

●堀川 和士さん

昨年12月24日ニコニコ担当例会にて「語り部ねっと」にお話ししていただきました。その方達が文化会館で朗読会を11月27日(日)予定されており入場料は500円ですが、西クラブの会員にはぜひ来ていただきたいとの事で招待券を出すそうです。堀川に言っていたら何枚でも手配しますので、お願いします。

●垂井 政機さん

本日11月4日17:00頃からNHKテレビ「ゆうどきネットワーク」に当社のほうぼう球増弁当が紹介されます。Wコロンの片割れ木曾さんちゅうと私が掛け合います。「整いました」の所をご覧ください。

●鴻野 幸泰さん

先日の10月30日の環境保全委員会四十八滝清掃に、会員の皆様たくさん参加いただき誠にありがとうございました。

●寺田 昌平さん

10月30日の環境保全委員会四十八滝清掃奉仕活動に参加し、大変ご迷惑をかけ、改めてお詫びします。飛騨高山高校インターアクト部の荒川先生・中島先生と12名の生徒さんも参加されお礼申し上げます。少しだけ。

●東 庄豪さん

10月30日 清掃奉仕活動お疲れさまでした。ゴミが落ちていない素晴らしい公園で地元の誇りです。飛騨高山高校インターアクトクラブの皆さんの「こんにちは」の声に心が癒されました。20数年振りに下りの道で同窓生に出会いました。最良の1日でした。

四十八滝 清掃活動

10月30日(日)、会員18名、飛騨高山高校インターアクトクラブの荒川先生・中島先生および12名の生徒さんの参加を得て、環境保全委員会による四十八滝清掃奉仕活動が、小雨の降る中行われました。



こころの中を見つめよう 博愛を広めるために